

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	簿記論Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	51026		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	経営情報学科		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	(H29) 商業338 新簿記 新訂版 安藤英義 (実教出版)						
担当教員	田川 晋也						
到達目標							
本科目の到達目標は以下の通りである。 (1) 各種取引の仕訳ができ、主要簿と代表的な補助簿の役割を説明できる。 (2) 簿記一巡の流れを説明でき、決算の手続きをすることができる。 (3) 財務諸表の意味を説明でき、貸借対照表と損益計算書を作成できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	各種取引の仕訳がほぼすべてできる。		各種取引の仕訳が3 / 4 程度できる。		各種取引の仕訳が3 / 5 程度できる。		各種取引の仕訳がほぼできない。
評価項目2	簿記一巡の流れが理解でき、決算の手続きがほぼすべてできる。		簿記一巡の流れが理解でき、決算の手続きが3 / 4 程度できる。		簿記一巡の流れが理解でき、決算の手続きが3 / 5 程度できる。		簿記一巡の流れが理解でき、決算の手続きがほぼできない。
評価項目3	財務諸表の意味を理解し、実際に作成することができる。		財務諸表の意味を理解し、実際に3 / 4 程度作成することができる。		財務諸表の意味を理解し、実際に3 / 5 程度作成することができる。		財務諸表の意味を理解し、実際に作成することがほぼできない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第1学期開講						
授業の進め方・方法	簿記概論Ⅰに引き続き、各種取引の仕訳と記帳方法について学習し、決算の意味と手続きに関する知識と技能を習得することによって、簿記一巡の流れについての理解を深める。さらに、より複雑な取引の記帳や決算整理などについても学習し、日商簿記検定3級合格を確実なものにしていくとともに、上級簿記への連携も視野に入れて学習を進める。これによって、企業の諸活動を貨幣金額により客観的に把握する能力の向上を図りたい。						
注意点	簿記概論Ⅱでは、期末における決算を中心として、授業を進めていきます。決算は正確に経営成績と財政状態を計算することに不可欠、また重要な一環です。決算および財務諸表の作成は、簿記概論Ⅰで学習した各種取引の仕訳や記帳に基づいて、行うことです。勉強した内容をしっかり復習する必要があります。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、および評価方法などを説明できる。		
		2週	資本の取引①		・資本の追加元入れ、引き出しに関する取引を処理できる。		
		3週	資本の取引②		・引出金という勘定科目を理解でき、運用できる。		
		4週	税金①		・所得税に感ずる取引を処理できる。		
		5週	税金②		・固定資産税を理解できる。		
		6週	貸倒引当金		・実績法を用いて貸倒引当金を計算・処理できる。		
		7週	帳簿組織と伝票会計①		・主要簿と代表的補助簿の概要、ならびに伝票と伝票会計を説明できる。		
		8週	帳簿組織と伝票会計②		・伝票を作成できる。		
	4thQ	9週	試算表の作成①		・試算表の機能を説明できる。		
		10週	試算表の作成②		・合計残高試算表を作成することができる。		
		11週	決算整理仕訳		・決算整理に関する仕訳ができる。		
		12週	帳簿の締め切り		・総勘定元帳の締め切りができる。		
		13週	精算表の作成		・8桁精算表を作成できる。		
		14週	財務諸表の作成		・貸借対照表と損益計算書の作成ができる。		
		15週	定期試験		・取引の仕訳及び決算に関する試験問題を解ける。		
		16週	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施		・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を説明できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験	小テスト		合計		
総合評価割合		80	20		100		
基礎的能力		20	5		25		
専門的能力		25	10		35		
思考・推論・創造への適用力		35	5		40		